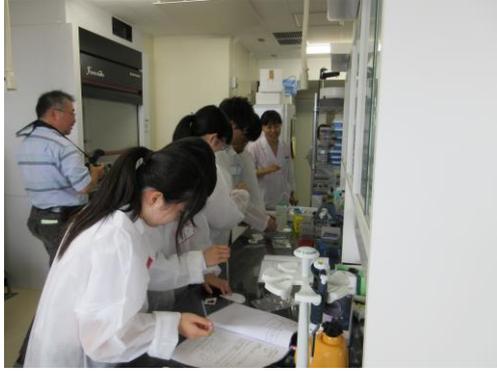


平成27年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT27249 現場の血液(血痕)から犯人を絞り込むには～法医鑑識科学体験～



開催日: 平成27年8月11日(火)

実施機関: 島根大学

(実施場所) (医学部 出雲キャンパス)

実施代表者: 藤原純子

(所属・職名) 医学部・助教

受講生: 高校生15名

関連URL:

【実施内容】

受講生にわかりやすく研究成果を伝えるためにまた受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意・工夫した点

- ・実習開始前に、わかりやすく物体検査や個人識別について、解説を行った。
- ・最新の研究については、デモンストレーションを行いポータブルランマンなどの操作について解説した。
- ・殺人事件に関するドラマを作製し、視聴してもらうことで興味を引く工夫をした。
- ・なるべく下準備をしておき、作業だけに時間を取られない工夫をした。

当日のスケジュール

- 10:20-10:40 講義①「法医学と物体検査について(講師:竹下治男)」
10:40-11:00 講義②「血液型とDNA型について(講師:藤原純子)」
11:30-12:00 実験①「血痕検査(予備試験)をしてみよう」
11:30-12:00 実験②「血痕検査(人獣鑑別)をしてみよう」
12:00-13:00 昼食・休憩
13:00-14:30 実験③「血液型検査をしてみよう」
14:30-15:00 実験④「DNA型検査をしてみよう」
15:00-16:00 クッキータイム・ディスカッション
16:00-16:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)
16:30 終了・解散

実施の様子



ルミノール反応のデモ



ポータブルランマンのデモ



実験の様子(PCR)



終了後の集合写真

事務局との協力体制

- ・医学部会計課外部資金担当が委託費の管理と支出報告を行う。
- ・研究協力課産学連携グループが振興会への連絡調整と、提出書類の確認・修正等を行う。
- ・大学の広報グループと連携し、大学の HP に募集案内を載せる。

広報活動

- ・当講座のホームページにて個別に広報を行った。

安全配慮

毒劇物に該当する試薬は使用しない。また血痕試料はあらかじめ感染ほか危険のないものであることを確認しておく。ピペットほか現行で使用する実験器具はガラス等の破損物は存在せず、プラスチックでディスポの廃棄用のものばかりであり、その類の事故は基本的に起こりえようがない。受講者と実施協力者(大学院生)を国内旅行傷害保険に加入させた。

今後の発展性・課題

広報活動が不十分であったにも関わらず、近隣の高校だけでなく、愛知県、岡山県、香川県など他県からの参加者もあり、単に広報活動の効果のみではないと感じた。

今回のプログラムは好評で興味を持って楽しく実験に取り組んでもらえた。今後も継続して開催し、科学の面白さを伝える機会の提供、進路の決定などに役立てる手ごたえを感じた。高校1年生にとっては難しい内容であったようで、対象者の選択など工夫する必要があると感じた。

日本学術振興会の「研究成果の社会還元・普及事業推進委員会」委員の嶋田先生が視察に来られ、本プログラム進展のヒントが得られた。

書類作成や手続きなどの面であまり事務の方の協力が得られず、今後は実施者の負担を軽減するような協力体制の構築が今後の課題であると感じた。

【実施分担者】

竹下 治男 医学部・教授

藤田 恭久 総合理工学部・教授

【実施協力者】 1 名

【事務担当者】

小山 拓史 学術国際部研究協力課産学連携グループ・係長